

FileMaker Server Admin Consoleと

Javaの互換性まとめ

(2012年版)

2012/10/20

FM-Tokyo ライトニングトーク発表資料

松尾 篤 (株式会社エミック)

Agenda

- FileMaker Server Admin Consoleとは
- Javaとの互換性まとめ
- どのバージョンのServerを使うべきか

FileMaker Server Admin Consoleとは

Admin Console

- バージョン9以降のFileMaker Serverで使用できる純正の管理ツール
- Java Web Startという仕組みを使ってサーバーから管理ツールを取得
 - すなわちJavaを使用している

問題点

- 安全上の理由でJavaを最新版に更新する必要がある
- JavaとFileMaker ServerのバージョンによりAdmin Consoleを使用できないケースがある

Javaとの互換性まとめ

Java SE 6 Update 24との 非互換問題

- FileMaker Server Admin ConsoleとJava SE 6 Update 24 / Update 25は非互換
 - Admin Console起動不可
- FileMaker Server 11v3以降は問題なし

Java SE 6 Update 26で解決

- Admin ConsoleとJava SE 6 Update 24の非互換問題が解決
- MacではJava for Mac OS X 10.6 アップデート 5およびJava for Mac OS X 10.5 アップデート 10で解決

FileMaker Server 9の Admin Console

- Java SE 6 Update 7までは問題なし
- Java SE 6 Update 24、25では起動不可
- Java SE 6 Update 10～23および26以降では起動はできるが各種操作が不可

Java for OS X 2012-006 との非互換問題

- Java Web Startのサポートが廃止
 - OS X LionとOS X Mountain LionでAdmin Console使用不可に
- Java SE 7であれば起動可能

Java 7での既知の問題

- デジタル署名に関するセキュリティの警告メッセージ
- データベースアップロードアシスタントでマルチバイト文字を含むファイル名のファイルを選択できない
- Chromeではサポートされていない 等

Java 7での既知の問題

- Internet Explorerを使用している場合に [Admin Console の開始] ボタンが表示されない (Windows)

Java SE 6

- 2013年2月に公式アップデートが終了する予定
- 結局は今後Java SE 7に移行する必要がある

どのバージョンの
FileMaker Serverを
使うべきか

推奨されるバージョン

- 最新のFileMaker Server 12
- バージョン11以前ではサポートが終了したTomcat 5.5が使用されている
- FileMaker Server 9については要アップグレード

まとめ

- Admin Consoleとの互換性に注意しながらJavaは最新版にアップデートを
- 互換性に関する詳細についてはFileMaker ナレッジベースを参照